

元気企業
訪問株式会社
松本製作所

新たな挑戦を続け 航空機部品を受注 IoT、AIを活用した 航空機専用工場も視野に

海外進出や一括受注と常に挑戦

1963年の創業以来、大手重工業メーカーの協力工場として主に切削加工を手掛け、近年は発電用ガスタービン部品を多く製造。ここ10数年は、メーカーの要請に応じて新しいチャレンジを続けてきました。

その一つが加工技術の多様化です。特に10年ほど前からは、TIG溶接を採り入れ、難削材に小径で深い穴を開けられる細穴放電加工機を積極的に導入。「加工の幅が広がってきただけでなく、当社から協力企業に加工をお願いするときの実力を評価する力も身に付きました」と松本和樹社長は話します。

また、8年前には中国工場を開設。日本とは違い、松本製作所の名を誰も知らない中国でどのように取引先の信頼を得ていけばよいか。その答えの一つが品質保証体制の整備だったといいます。その経験を生かして品質保証部を新設し、本社工場でもその取り組みを加速させていきました。

さらに3年前にはメーカーからの多工程一括発注、すなわち1社に頼めば部品を完成品にして納品してもらえ、というニーズに応え、ある大きな決断をしました。表面処理加工技術を持つ

企業のM&Aです。「一括受注のために当社に足りなかった技術が表面処理技術。姫路市内でその技術を持った会社があり打診したところ、話がまとまりました。」

商談会でやるべきことが明確に

次々に新しい取り組みを実現させていったことで社員一人一人にも自信が生まれてきました。あるとき営業担当者から「会社の成長を長い目で考えれば、ぜひ航空機産業に参入すべきではないか」との意見が出されました。ただ、どのようにしてメーカーときっかけを作ればよいのか考えあぐねていたところ、2016年、ひょうご産業活性化センターの担当者から、航空機部品の協力業者を求めている大手鉄鋼メーカーが参加する商談会に出てみないかと声が掛かります。

メーカーの担当者との面談では実績や設備面では高い評価を受けたものの、航空機産業への参入に不可欠な品質マネジメントシステム「JISQ9100」

の取得が必要であることが分かりました。「活性化センターの商談会は、いきなりお客さまの門をたたくのと違い、発注担当者の方が聞く耳を持って臨んでくださるので安心感がありますし、受注のための課題が明確になるのもありがたいと思いました」と松本社長。

そしてJISQ9100の取得に挑戦します。品質保証のベースはできていたものの「航空機部品加工では、加工法を変える場合、その検証結果をデータで示して初めて変えることができます。今まで我々が行ってきたものづくりのアプローチとは大きく違っていたため、社員の理解と意識改革が必要でした」と取り組みの大変さを振り返ります。1年がかりで取得にこぎ着け、あらためてメーカーに報告。試作品製作からスタートし、その後エンジン関連部品の



姫路の本社工場

受注を実現しました。その実績を基に別の航空機部品メーカーにもアプローチを掛け、話が進んでいるところです。

航空機産業への参入という新しい

切符を手に入れた今、新たに取り組もうとしているのがIoT、AIの活用です。数年後に航空機専用工場を立ち上げる前段階として、10月に「松本マシン

グラボ」を開設。新型の工作機械を数台導入し、IoT、AIを使った生産工程効率化、省人化に向けた実証を行い、新工場で実装していこうとしています。

会社概要
株式会社松本製作所

所在地 姫路市飾東町八重畑583-8
代表取締役 松本和樹
事業内容 金属加工業

TEL 079-262-0013
URL <https://www.ma2moto-f.jp/>

支援メニュー講座

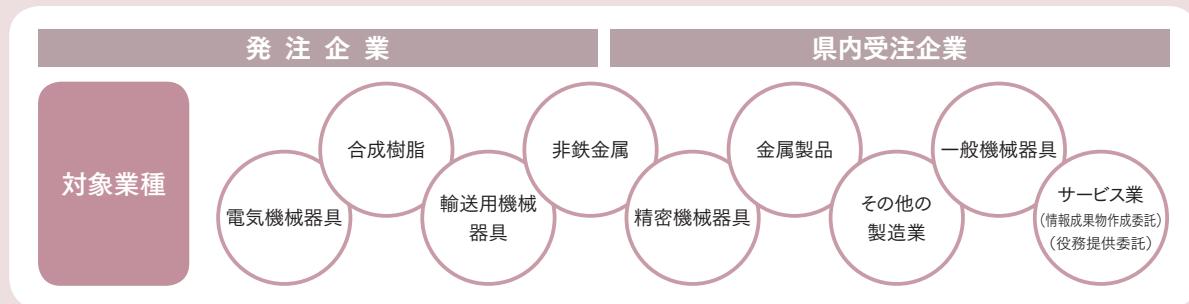
取引商談会

取引商談会で県内ものづくり中小企業の販路拡大を支援します。

制度概要

当センターで実施している取引商談会は、県内ものづくり中小企業（県内受注企業）が県内外のメーカー等発注企業（発注企業）に製品および加工技術を紹介し、中小企業の広域的な受注機会の拡大と新規取引先の開拓の機会を提供しています。

2019年度は12月に神戸で、2月は京都で開催します。



※取引商談会への参加は、登録制となっています

[ひょうご産業活性化センター 取引振興登録](#)

検索

問い合わせは [ひょうご産業活性化センター取引振興課](#) TEL 078-977-9074